

シリーズ「グローバル・ジャスティス」
第55回

「国際社会からみた日本における 表現の自由と報道の自由」

藤田 早苗 氏

英・エセックス大学人権センター フェロー

日本社会において、報道の自由や表現の自由が危機に晒されていると論じられるようになって久しい。3.11以後、「報道の自由度」ランキングは下がり続け、2010年には11位と高位にあった順位が、2015年には61位となり、いまや報道の自由の問題がある社会と位置づけられています。また、2015年11月には、国連「表現の自由」に関する特別報告者の日本への公式訪問調査が、政府側から突然キャンセルされたことが報道されました。

今回のセミナーでは、今回キャンセルされた特別報告者と同行する予定であった藤田さんをお招きし、国際人権法の現代までの発展を背景に、特定秘密保護法(2014年12月施行)が国連からどのような批判を受けているのか、また、日本の現在の表現の自由はどのような状態と捉えられているのかを論じていただきます。

日時： 1月8日(金)
18:30-20:00

会場： 志高館 119番教室

来聴歓迎・予約不要

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp